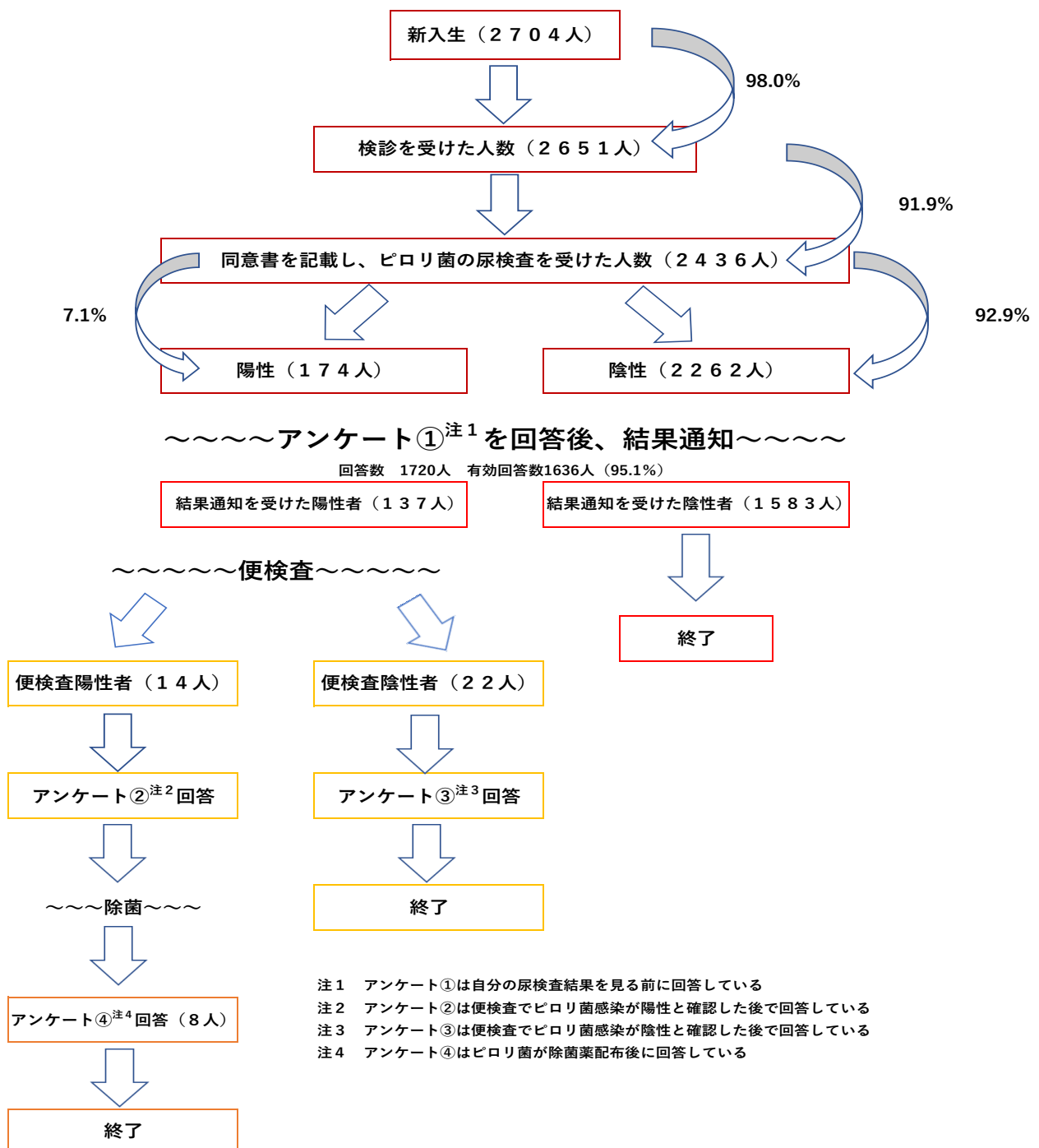


ピロリ菌アンケートに関するデータ

本アンケートでは、横浜国立大学と横浜市立大学の新生に対して、ピロリ菌検査を行った。人数の推移は図1の通りである。

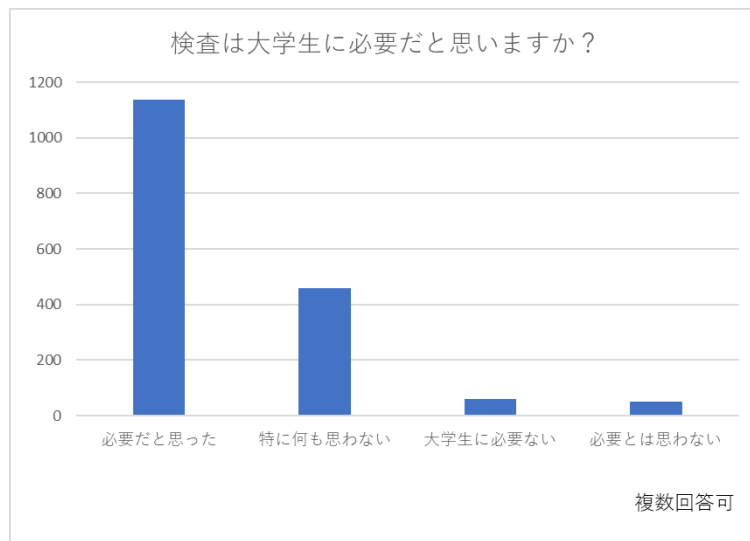
図1 本検査の人数推移



アンケート①

1. 質問「検査は大学生に必要だと思いますか？」に対するアンケート結果

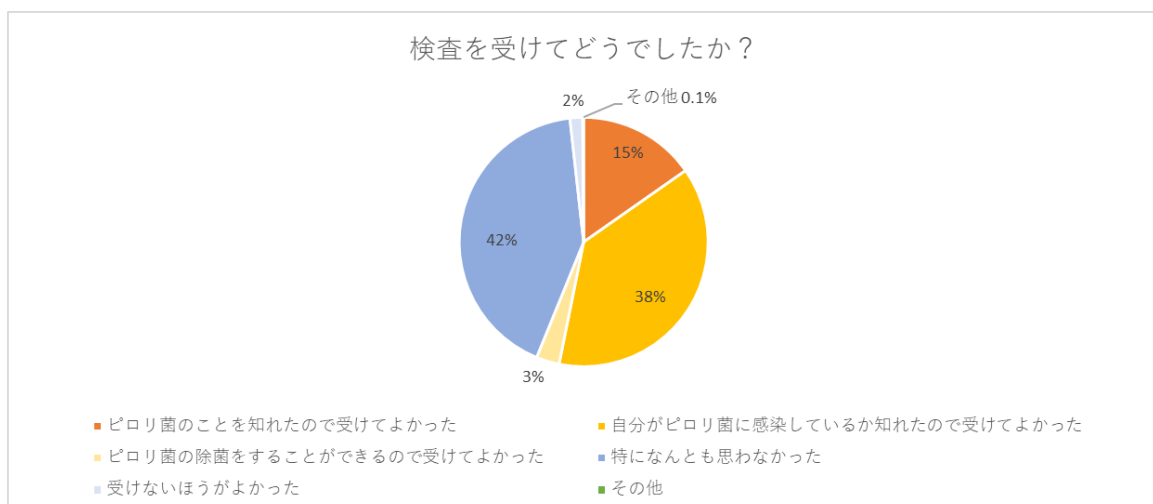
「検査は大学生に必要だと思いますか？」という質問に「必要だと思った」と答えた人が1139人いた。



2. 質問「検査を受けてどうでしたか？」に対するアンケート結果

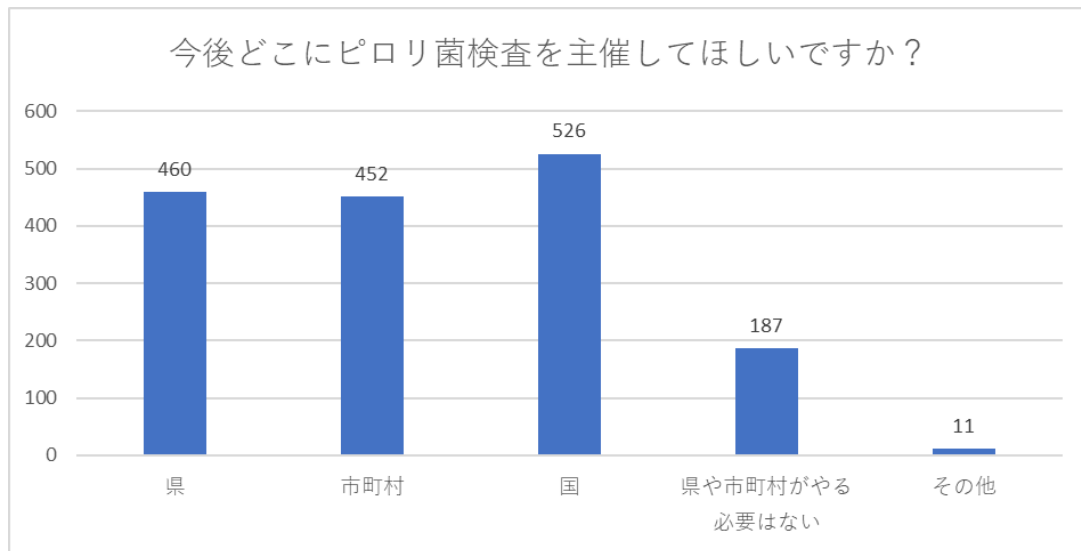
「検査を受けてどうでしたか？」という質問に対して、

「ピロリ菌のことを知れたので受けてよかった」、「自分がピロリ菌に感染しているか知れたので受けてよかった」、「ピロリ菌の除菌をすることができるので受けてよかった」と答えた人は合わせて56%を占めていた。



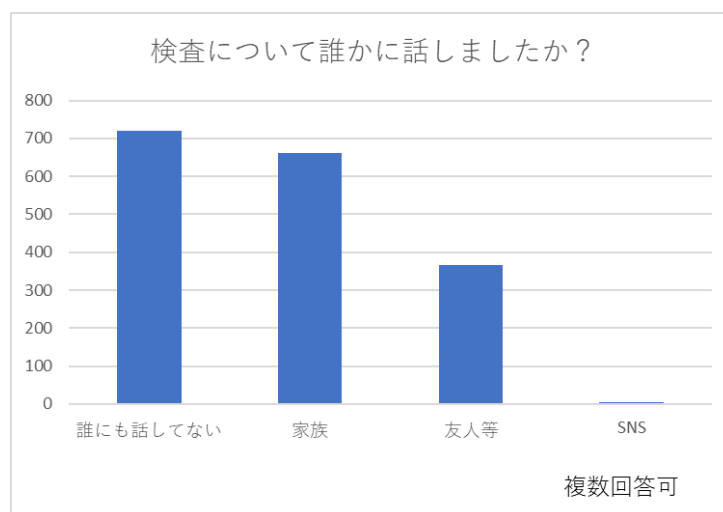
3. 質問「今後どこにピロリ菌検査を主催してほしいですか？」に対するアンケート結果

「今後どこにピロリ菌検査を主催してほしいですか？」という質問に対して、「行政(県・市町村・国)に主催してほしい」と答えた人は、1636人中1438人(87.9%)であった。



4. 質問「検査について誰かに話しましたか？」に対するアンケート結果

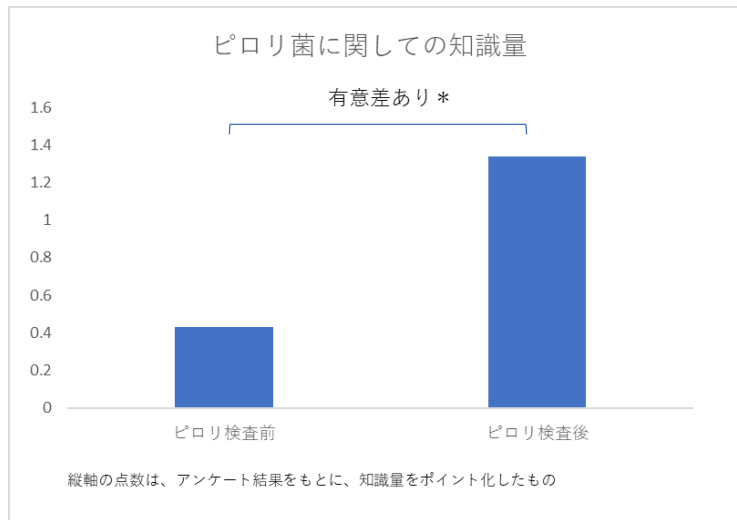
「検査について誰かに話しましたか？」という質問に「話した」と答えた人は56.0%であった。その内訳としては家族が最も多く、次いで友人が占めていた。SNSに書いたと答えた人も若干名いた。



5. 本検査による知識量の変化

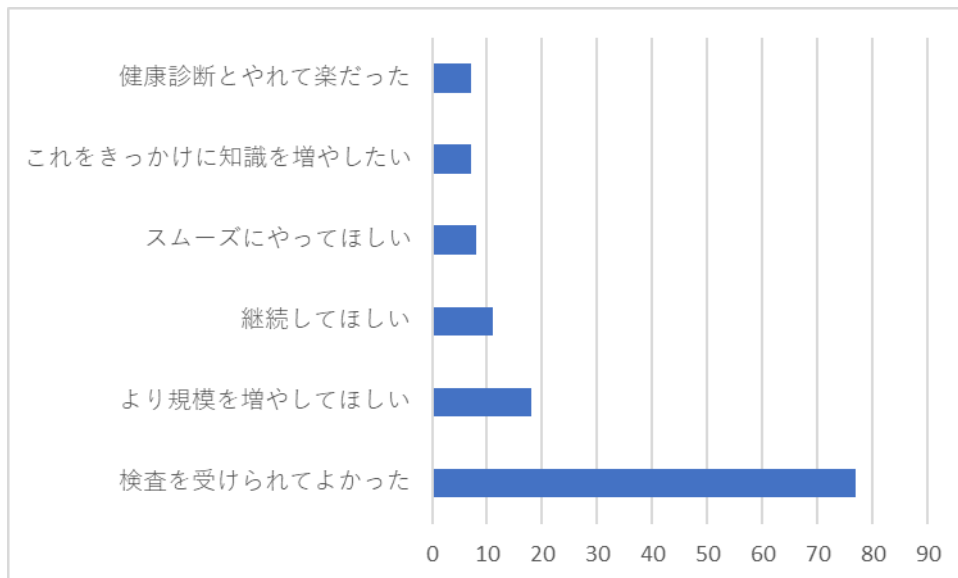
本検査を通して、ピロリ菌に関する知識量は以下の図のように変化した。

知識量は、ピロリ菌に関する質問項目に答えた数に応じてポイント化されており、その結果、本検査前後で、有意差（統計的に差があると認められる差）を観測することができた。



6. 自由記述に関するデータ

本検査において以下の図のような要望があった。また、「検査を受けられてよかった」と記載した人の中で「無料で受けられたことがよかった」と記載した人は53人おり、「検査を受けられてよかった」と記載した人の中で69%ほどであった。



アンケート④

7. 質問「除菌はどうでしたか？」に対するアンケート結果

「除菌はどうでしたか？」という質問に対し、アンケート④を受けた人全員が「思ったより簡単だった」、「思ったより怖くなかった」、「特に何とも思わなかった」のいずれかを選んだ。

「思っていた以上に怖かった」、「思っていた以上に面倒だった」と答えた人はいなかった。

